

平成30年度六戸町社会福祉協議会事業計画

基本理念

「みんなで支え合い すべての人が 安心して暮らせる町づくり」

基本方針

近年、少子高齢化の進行や人口の減少に伴う過疎化、生活様式の変化に伴い、地域社会や家庭・家族の様相は大きく変容してきています。さらに地域社会の機能の脆弱化やそれに伴う人と人とのつながりの希薄化が進み、引きこもりや生活困窮、社会的孤立、医療、介護、子育てへの不安や負担など、地域における生活課題は、複雑化・多様化しています。

そのため、国は福祉改革の基本コンセプトとして「地域共生社会の実現」を位置づけ、住民の身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを支援することが示されています。

このことから、本会では、長年にわたり培ってきたコミュニティワークや個別支援の実践をもとに、地域住民が安心して生活を送るため、行政とのパートナーシップとともに、地域の関係団体及び社会福祉法人・福祉施設との連携・協働し、住民と一体となった地域福祉の推進を図り、地域の課題解決に向けた事業展開と支援に取り組んでいきます。

また、生活支援体制整備事業、共助のための基盤づくり事業を継続し、「地域住民同士の助け合い・支え合い」を高める取り組みを積極的に進め、地域のつながりを再構築していきます。

今年度は法人化30周年の節目を迎えます。これまでの歩みを振り返り、基本理念の実現に向け、地域福祉を総合的に進めるために次の重点項目を掲げ各種事業に取り組んでいきます。

- 1 日常生活圏内で支え合い・助け合う仕組み作りを進めていきます。
- 2 地域福祉活動に主体的に参加する人づくり・組織づくりを進めていきます。
- 3 他機関の協働による包括的・総合的な相談支援を進めていきます。